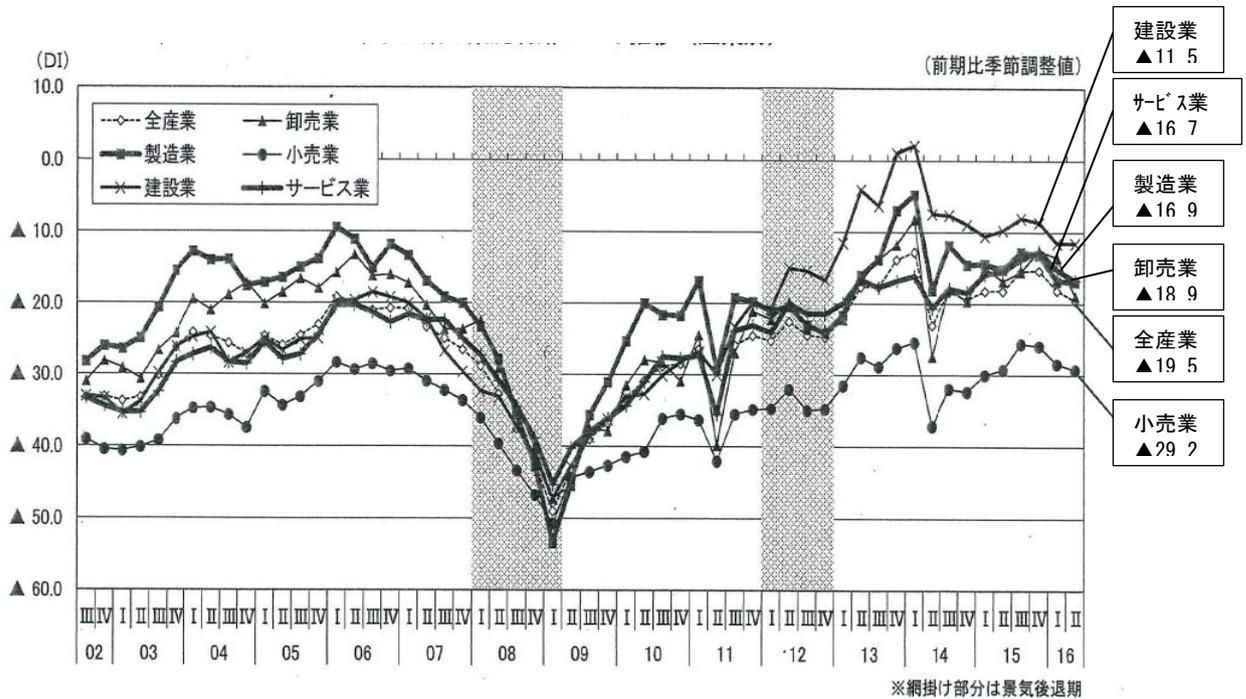


■全国の動向

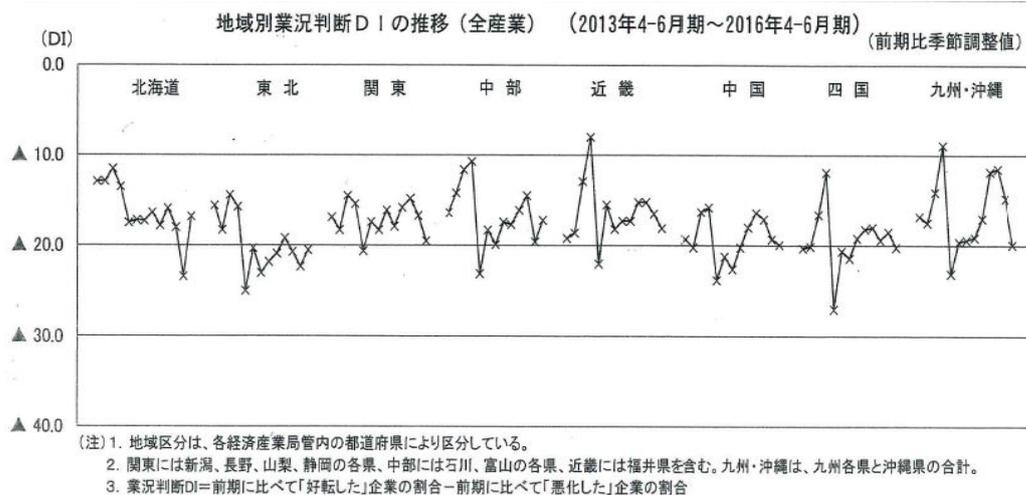
<全産業、業種別業況判断について>



中小企業の業況は、持ち直し基調の中にも、弱い動きがみられます。

前期と比べた全産業の業況判断 DI は、2 期連続して低下しました。(▲18.1→▲19.5)

<地域別業況 (全産業)>

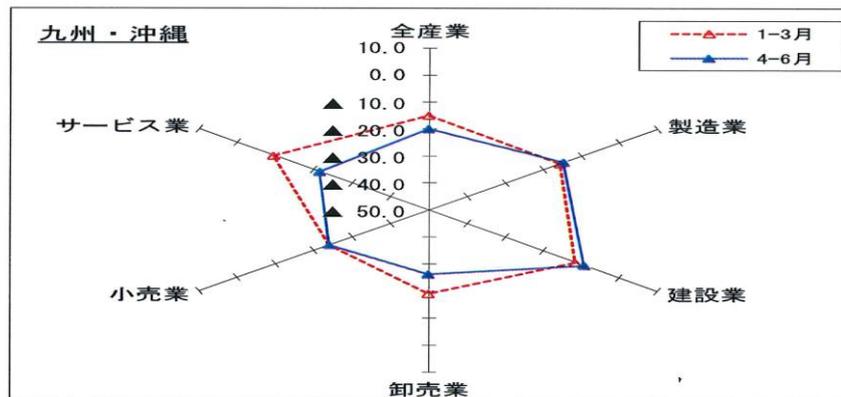


九州・沖縄はマイナス幅が拡大しています。

■全国・九州・佐賀県の業況判断

	全国	九州	佐賀県
全産業	▲19.5	▲19.9	▲20.1
製造業	▲16.9	▲14.5	▲21.7
建設業	▲11.5	▲8.9	▲10.1
卸売業	▲18.9	▲26.3	▲6.3
小売業	▲29.2	▲24.2	▲28.3
サービス業	▲16.7	▲21.6	▲15.3

全産業では、全国▲19.5に対し、九州▲19.9、佐賀県▲20.1と、全国平均に比べ、業況は厳しいと判断されています。その背景には熊本地震の影響もみうけられます。



九州・沖縄の業況について、前期と今期を比較して、全産業で▲18.1→▲19.5 と▲1.4 ポイント減となっています。

[参考1] 各県の中小企業の業況判断DI推移

県	産業	前期比(季節調整値)											
		2013	2014				2015				2016		前期差
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月		
福岡県	全産業	▲16.8	▲11.6	▲22.0	▲21.0	▲19.0	▲20.1	▲20.4	▲16.4	▲14.0	▲15.3	▲16.9	▲1.6
	製造業	▲21.5	▲14.2	▲25.6	▲21.4	▲14.2	▲14.4	▲24.7	▲14.3	▲9.4	▲15.4	▲8.6	6.8
佐賀県	全産業	▲13.0	▲10.3	▲31.2	▲25.6	▲27.2	▲26.7	▲19.1	▲14.6	▲19.3	▲14.0	▲20.1	▲6.1
	製造業	▲1.9	▲8.0	▲23.2	▲24.8	▲31.5	▲22.8	▲10.9	▲8.7	▲21.1	▲6.7	▲21.7	▲15.0
長崎県	全産業	▲17.6	▲11.6	▲32.8	▲25.8	▲26.2	▲28.5	▲20.8	▲16.2	▲18.7	▲17.2	▲18.9	▲1.7
	製造業	▲18.5	▲11.0	▲25.9	▲21.7	▲23.6	▲21.7	▲19.6	▲14.8	▲11.9	▲17.7	▲22.9	▲5.2
熊本県	全産業	▲13.1	▲4.3	▲21.4	▲20.2	▲29.1	▲27.5	▲13.2	▲8.6	▲14.6	▲22.2	▲11.6	10.6
	製造業	▲20.2	▲13.1	▲26.6	▲22.0	▲22.3	▲20.8	▲20.7	▲16.4	▲11.1	▲17.3	▲25.1	▲7.8
大分県	全産業	▲15.2	▲6.2	▲17.1	▲18.8	▲21.4	▲19.6	▲14.7	▲8.2	▲5.0	▲16.5	▲28.6	▲12.1
	製造業	▲8.3	▲6.4	▲11.0	▲14.0	▲17.4	▲12.1	▲12.1	▲7.8	▲4.6	▲16.0	▲24.9	▲8.9
宮崎県	全産業	▲17.6	▲6.9	▲18.6	▲20.4	▲23.1	▲23.2	▲14.4	▲8.4	▲5.3	▲17.0	▲29.3	▲12.3
	製造業	▲12.5	▲15.0	▲30.8	▲25.8	▲26.5	▲26.1	▲22.3	▲20.9	▲21.3	▲25.0	▲29.6	▲4.6
鹿児島県	全産業	▲11.3	▲3.2	▲39.9	▲25.2	▲30.5	▲23.0	▲20.4	▲17.1	▲15.0	▲33.5	▲26.7	6.8
	製造業	▲13.3	▲18.5	▲27.7	▲26.3	▲25.9	▲26.8	▲22.0	▲22.0	▲23.4	▲22.4	▲30.1	▲7.7
沖縄県	全産業	▲16.3	▲11.6	▲24.3	▲20.1	▲17.6	▲22.6	▲13.0	▲9.8	▲10.0	▲11.9	▲17.3	▲5.4
	製造業	▲9.7	3.2	▲12.2	▲19.2	▲13.5	▲22.6	▲11.9	▲4.7	▲5.8	▲10.5	▲22.6	▲12.1
鹿児島県	全産業	▲17.4	▲15.7	▲29.4	▲20.1	▲18.0	▲22.2	▲14.6	▲11.1	▲10.5	▲12.1	▲17.0	▲4.9
	製造業	▲13.7	▲10.4	▲22.9	▲21.7	▲20.4	▲19.4	▲13.8	▲11.0	▲12.2	▲20.5	▲21.2	▲0.7
佐賀県	全産業	▲4.5	▲6.5	▲13.6	▲17.2	▲14.8	▲20.3	▲16.7	▲11.1	▲13.5	▲23.1	▲13.6	9.5
	製造業	▲17.0	▲11.9	▲26.3	▲23.6	▲21.5	▲19.2	▲12.8	▲11.3	▲11.1	▲19.6	▲23.4	▲3.8
佐賀県	全産業	▲6.0	1.4	▲2.1	0.8	0.3	▲0.3	0.3	7.4	6.0	▲1.8	0.2	2.0
	製造業	▲11.8	▲17.0	▲13.5	▲5.9	▲11.6	9.4	▲5.8	5.0	10.9	7.4	4.0	▲3.4
佐賀県	全産業	▲5.3	8.0	0.9	3.1	2.6	▲2.0	1.9	8.4	3.5	▲3.2	▲1.0	2.2

佐賀県は、前期と今期を比較して、全産業で▲14.0→▲20.1 と▲6.1 ポイント減となっています。

■佐賀市北の動向

①経営上の問題点について

	経営上の問題点		
	1位	2位	3位
建設業	官公需要の停滞	下請け業者の確保難	従業員の確保難
製造業	従業員の確保難	需要の停滞	生産設備の不足・老朽化
小売業	消費者ニーズの変化への対応	仕入単価の上昇	人件費の増大
サービス業	店舗の狭隘・老朽化	熟練技術者の確保難	利用者ニーズの変化への対応

建設業では「官公需要の停滞」、製造業では「従業員の確保難」、小売業では「消費者ニーズの変化への対応」、サービス業は「店舗の狭隘・老朽化」が経営上の問題点の上位を占めています。

②全国の問題点回答との比較

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
建設業	全国	官公需要の停滞	民間需要の停滞	従業員の確保難
	佐賀市北	官公需要の停滞	下請け業者の確保難	従業員の確保難
製造業	全国	需要の停滞	製品ニーズの変化への対応	生産設備の不足・老朽化
	佐賀市北	従業員の確保難	需要の停滞	生産設備の不足・老朽化
小売業	全国	需要の停滞	大・中型天の進出による競争の激化	購買力の他地域への流出
	佐賀市北	消費者ニーズの変化への対応	仕入単価の上昇	人件費の増大
サービス業	全国	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	従業員の確保難
	佐賀市北	店舗の狭隘・老朽化	熟練技術者の確保難	利用者ニーズの変化への対応

全国と佐賀市北エリア事業者の問題点を比較すると以下のとおりです。

- ・建設業では、1位は「官公需要の停滞」で同じであるが、2位が「下請け業者の確保難」となっています。
- ・製造業は、全国1位は「需要の停滞」に対し、佐賀市北は「従業員の確保難」となっています。
- ・小売業は、全国1位は「需要の停滞」に対し、佐賀市北は「消費者ニーズの変化への対応」となっています。
- ・サービス業は、全国1位は「消費者ニーズの変化への対応」に対し、佐賀市北は「店舗の狭隘・老朽化」となっています。